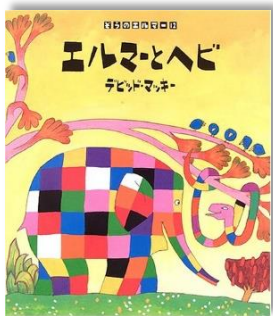


明日もついにBIBLIOTHECAのあけましておめでとう展

2025年が始まります。昨年も大変お世話になり、ありがとうございました。利用者の皆さまを通してたくさんの方に紹介いただき、心より感謝申し上げます。子育ての中で一番手がかかり、もどかしい時期ですが、子どもは日々瑞々しい感性を育み成長していく時です。そんな親子に絵本や図鑑を使って寄り添いながら楽しい時間が増えるように今年も務めてまいります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

1月30日「絵本の日」、ちょうどその日に福岡市動植物園では、およそ7年ぶりにアジア象が全面公開され、名前が発表されました。紛争で大変な時を乗り越えミャンマーよりプロの象つかいの方々と一緒にやってきた「あお」「ゆずは」「わかば」、そして残念ながら亡くなってしまった「すい」。ビブリオでも絵本や図鑑で命の尊さと平和の大切さを親子と学んでいます。暖かく着込んで会いに行ってみましょう。

さて、今年は何(み)年です。へびは、古代から「神の使い」といわれ大切にされています。脱皮のように再生や変化をしながら柔軟に発展していく佳年となります。そんな今日は、いたずら好きのエルマーを象たちが「今度はほくらがエルマーにいたずらしちゃうぞ」と蛇に相談してしかけるのですが、まんまと蛇の「笑いの薬」にひっかかる絵本を読んでいます。



『エルマーとへび』  
デビッド・マッキー文・絵  
きたむら さとし 訳  
BL 出版

ペンギン豆知識  
ペンギンの仲間達 119

☆ペンギンクイズ

両親が平等に卵の世話を分担するペンギンは、何ペンギンでしょうか？

# BiblioHot 1

館長 水田祥代、発行責任者 本山茂夫、編集 木村宏二、記者 安藤直子、記者 矢野好美



答え ガラパゴスペンギン

通常1日交代で抱卵を担当し、一方が抱卵中に他方が採餌に出かけ、育雛の成功率も高いそうです。



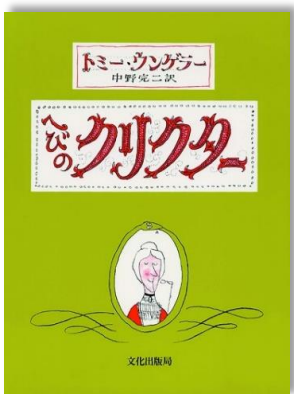
『ペンギン大図鑑』  
デイビッド・サロモン作  
出原速夫・菱沼裕子訳  
ペンギン基金 河出書房新社

おすすめの絵本

1月のビブリオ・ラボでの展示は、「お正月」「へび年」「冬のおはなし」「ながい」「ながい」など4つのテーマで「2025年あけましておめでとう絵本展」を開催いたします。

むかし、フランスのある小さな街にルイーズ・ポドという名前の婦人が住んでいました。ある日、ポドさんのお誕生日にブラシルで爬虫類の研究をしている一人息子から奇妙な丸い箱が届きました。箱を開けてびっくり！蛇が一匹入っていたのです。動物園に行くと毒蛇かどうか確かめると「ポア・コンストリクター」という毒のない大蛇だとわかります。蛇に名前をつけて子どものように可愛がるポドさんとよく食べよく寝てよく遊ぶ無邪気なクリクターが大活躍するお話です。図鑑を見るとどんな蛇なのかも楽しめますよ。

司書 矢野 好美



『へびのクリクター』  
トミー・ウンゲラー 作  
中野 完二 訳  
文化出版局



“2025年あけましておめでとう絵本展”  
1/5 ~ 1/31 開催!